

氏名	善生まり子	部署	看護学科	職名	准教授
研究分野	老年看護学、地域看護学				
学位	博士（看護学）				
学歴	1991年北里大学看護学部、1999年北里大学大学院 看護学研究科 修士課程（健康看護学）、2018年北里大学大学院 看護学研究科 博士後期課程（看護生涯教育学）				
経歴	1991年学校法人北里研究所北里大学東病院消化器外科（看護師）、1992年富士宮市役所保健センター（保健師）、1996年秋田市医師会立秋田看護学校（専任教員）、1997年秋田大学医療技術短期大学部看護学科（助手）、1999年学校法人北里研究所北里大学東病院 治験管理センター（看護師：非常勤）、保健同人社 電話相談（保健師：非常勤）、2001年公立大学法人埼玉県立大学 保健医療福祉学部看護学科（助手）、2005年同大学（講師）、2014年同大学（准教授）				
所属学会（役職）	日本看護研究学会、日本看護科学学会、日本看護学教育学会、日本看護学会、日本在宅ケア学会、日本認知症ケア学会、埼玉県立大学保健医療福祉科学学会、日本老年看護学会、日本保健医療福祉連携教育学会、日本サルコペニアフレイル学会、日本地域看護学会、日本看護歴史学会、みんなの認知症情報学会				

【2021年度実績】

1. 研究業績							
(1) 著作							
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月	
1	該当なし						
(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	障がいのある児・者と家族の健康と暮らしの多様性を支える社会的ネットワークの構造-地域社会とのつながり・仲間づくりに関する自助・互助の課題-	共著	なし		明治安田こころの健康財団研究助成論文集、(55)、130-139	善生まり子, 宮本美保子, 小林不二也, 外木栄子, 久保田亮, 菅野康二	2021年11月
2	看護職員を大切に作る組織に係る男性看護職員の認識の特徴	共著	あり		日本看護学会論文集: 看護管理・看護教育、51、84-87	真々田 美穂, 善生まり子	2021年8月
3	決定木およびサポートベクターマシンを用いた転倒有経験者の判別モデル	共著	あり		愛知県理学療法学会誌、33(2)、95-107	竹田 京平, 木戸 聡史, 村田 健児, 菊本 東陽, 須永 康代, 久保田 章仁, 善生まり子, 内山 真理, 藤縄 理	2021年12月
(3) 学会発表							
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	障がいのある児・者と家族の健康と暮らしの多様性を支える社会的ネットワークの構造	単独		第41回日本看護科学学会学術集会（オンライン）、愛知県	○善生まり子	2021年12月	
2	独居の認知症高齢者の支援への思い 地域包括支援センターの看護職へのインタビューをもとに	共同		第24回日本地域看護学会学術集会（オンライン）、東京都	林純子, 林裕栄, 張平平, 善生まり子	2021年6月	
3	フレイル予防における老人福祉センター機能の現状と課題	単独		第8回日本サルコペニア・フレイル学会学術集会、オンライン、大阪府	○善生まり子	2021年11月	
(4) その他							
	名称	単・共		発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	2020年度COVID-19に伴う看護学実習への影響調査 A調査・B調査報告書（一般社団法人日本看護系大学協議会）	共著		https://www.janpu.or.jp/ （一般社団法人日本看護系大学協議会ホームページ及び冊子）	吉沢豊子、石橋みゆき、鎌倉やよい、善生まり子、縄秀志、細田泰子、前田修子、森山美知子（一般社団法人日本看護系大学協議会 看護学教育質向上委員会） * 全員発表	2021年4月	

2. 競争的資金等の研究				
	競争的資金等の名称	研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	第55回（2019年度）明治安田こころの健康財団研究助成	障がいのある児・者と家族の健康と暮らしの多様性を支える社会的ネットワークの構造：地域社会とのつながり・仲間づくりに関する自助・互助の課題	研究代表者	2019年7月～2021年6月 ※COVID-19にて延長
3. 教育業績				
(1) 講義				
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	老年看護学Ⅳ（地域ケアシステム）		2	すべてリアルタイム方式のオンライン学習により、老年看護学実習Ⅱの体験のリフレクションを通して地域包括ケアシステムにおける看護職の役割を教授し、WebClassによる自己学習を充実させた。高度看護実践専門家のゲストスピーカー2名を招き、学生との交流を積極的に進めた。
2	老年看護援助論 博士前期課程	○	2	リアルタイム方式のオンライン学習により、高齢者の退院支援と在宅支援に関する看護職の専門性（実践課題）や研究課題について教授した。
3	在宅看護学特論 博士前期課程		2	リアルタイム方式のオンライン学習により、在宅移行期の退院支援に関する看護職の専門性（実践課題）や研究課題について教授した。
4	IPW論（専門職連携実践論）① 博士前期課程		4	リアルタイム方式のオンライン学習により、「保健医療福祉分野における専門職連携教育（IPE）」を担当し、学生時代及び就業体験後のIPWの振り返りを促し、最終的な成果発表に寄与した。また、授業運営に積極的にかわり科目責任者をサポートした。
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	老年看護学Ⅱ（援助技術）	○	15	科目責任者として、新型コロナウイルス感染症の流行状況及び大学方針を照らし合わせ、対面（高齢者模擬体験）とリアルタイム配信の講義・演習と組み合わせで授業を運営した。学生が、老年看護学実習Ⅱにおける実在の事例へ看護援助が行えるよう、先んじて、要介護状態にある高齢者への援助技術を多角的に学べるよう工夫した。老年看護学領域教員によるオムニバス形式の演習とした。活動能力が低下した高齢者への援助、認知症のある高齢者への援助、嚥下・口腔機能の低下した高齢者への援助、パーキンソン病のある高齢者の援助等、グループワーク、体験、講義聴講を組み合わせた。
2	看護学演習（老年看護） 博士前期課程		通年	博士前期課程3名のゼミに参加し、それぞれの研究課題及び進捗状況に応じて、指導教員と連携しながら指導補助教員としてサポートした。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	老年看護学実習Ⅰ		2021年4月～6月	科目担当者として、実習施設である公立の老人福祉センターにおいて、学生が利用者とのコミュニケーションの機会、施設見学等を通して高齢者の心身・社会的側面の理解が深まるよう、実習指導者との連絡調整を密に行い、毎回のカンファレンスに参加した。

2	老年看護学実習 II	○	2021年11月～12月	科目責任者として、実習施設への依頼・実習指導者会の運営、学生への実習オリエンテーション開催等、統括している。型コロナウイルス感染症の流行状況及び大学方針を照らし合わせ、各実習施設との綿密な連絡・調整により、現在、臨地（医療機関または介護老人保健施設）での実習を行っている。学生の受け持つ事例（高齢患者）の選定及び、臨床現場での学生の看護援助、各種カンファレンス運営は、実習指導者と教員共に行い、学生の主体性が伸びるよう、実践中及び実践後のリフレクションをファシリテートしている。1クール2週間、学生5～6名を担当し、それを4クール行った。
2	総合実習		2021年4月～7月	学生の主体的な学習態度を形成でき、実習展開を促進する目的で、文献抄読会及び実習計画作成等のゼミを4回行い、個別・グループ指導した。2021年度は対面実習のため、今まで以上に実習指導者との事前連絡調整を綿密に行い、学生の看護実践能力に関わる課題および実習目標を共有し、実習のあり方について相互に理解できるよう努めた。
3	IPW実習		2021年8月～10月	リアルタイム方式のオンライン学習により、埼玉医科大学の学生を含めて6名担当し、紙上事例の展開を通して、チーム形成、専門職連携の体験を促した。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2021年4月～2021年1月	主指導 4名	副指導 0名
2	修士論文	2021年4月～2022年3月	主指導（指導教員） 0名	副指導（指導補助教員） 3名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	該当なし			
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	メディカルトピア草加病院看護研究指導	メディカルトピア草加病院看護部	3つの看護研究課題について、看護研究指導を行った。院内の研究発表および院外（埼玉県看護研究会3演題）発表を支援した。年7回病院訪問指導、適宜メール指導を行った。	2021年4月～7月、 2022年1月～3月
2	65歳からの心の健康講座	越谷市	心のフレイルを予防するためのセルフケアの基本（90分）	2021年11月
3	IPW（多職種連携）総合課程	埼玉県立大学	IPW実践の検討（チーム活動のファシリテーター）270分 リフレクション15分 IPEの現状・成果・課題講義30分	2021年9～10月
4	看護師ラダーレベルIV：キャリアに応じた研修	公益財団法人埼玉県看護協会	看護研究における指導者の役割の講義（5時間）	2021年9～10月
5	多職種連携基礎研修	埼玉県立大学	リフレクション講義（15分） リフレクションのアクティビティ担当（30分）	2022年2月
6	産学連携と研究シーズ	埼玉県立大学	看護チーム連携とインクルーシブケア促進の研究	2022年3月
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	草加市総合政策部 人権共生課	草加市男女共同参画審議会		2019年4月～2023年3月
2	新型コロナウイルス感染症対策に係る埼玉県保健所応援	埼玉県保健師応援業務		2020年12月～2022年2月
3	一般社団法人日本看護系大学協議会	看護学質向上委員会		2020年8月～2022年8月

4	ANS研究会（ANS:アメンバーナーシングシステム：東鷲宮病院看護部主催）	ANS研究会顧問	2021年10月～ 2023年3月	
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容	年月	
1	東武よみうり	県立大発！耳より健康情報「'新型コロナ軽症者'自宅療養のツボ」3面掲載を担当した。	2021年11月	
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	地域貢献活動	メディアトピア草加病院	共同研究者「看護補助業務を魅力ある職業とするための方策を考える」（研究代表者 看護部長 真々田美穂氏）	2021年5月～2022年3月
2	地域貢献活動	獨協医科大学埼玉医療センター	共同研究者「大学病院の外来における在宅療養支援システムの構築と外来看護師の変化」（研究代表者 看護副部長 松元智恵子氏）	2021年9月～2023年12月
3	産業支援	埼玉県産業振興公社	産学研究マッチング相談3件 コンパートワゴン社（高齢者フレイル予防評価）：コンサルテーション ラジエンスウエア株式会社（AIロボットの看護ケアへの活用）：共同研究マッチング成立 セリック社（人工太陽光の看護ケアへの活用）：コンサルテーション	2021年7月 2021年9月 2022年2月
4	地域貢献活動	富士宮市心身障害児家族会 さんざしの会	さんざしの会の賛助会員として会の活動をサポートしている。	2021年4月～ 2022年3月
5	地域貢献活動	社会福祉法人 インクルふじ	インクルふじの賛助会員として活動をサポートしている。	2021年4月～ 2022年3月
5. 学内運営				
	項目	内容	期間	
1	全学的委員会及びセンター業務等	専門職連携部会員：本学主催の専門職連携実践（IPW）総合課程の運営、一部講義担当などに携わっている。	2021年4月～2022年3月	
2	学科等における委員会等	担任業務：看護学科3年編入学生（担任学生）への定期的及び必要時の個別面談（就職支援、学生生活の相談、人間関係、履修相談等）を行った。（通年）	2021年4月～2022年3月	
3	大学広報活動	埼玉県立与野高等学校への高校出張講座：「埼玉県立大学の紹介」「看護のお勉強」の講義を行った。1回目34名、2回目23名参加した。	2021年7月	
4	学生支援	看護学科3年次生の就職支援プロジェクト（就職ガイダンス①、②、③）に係る研修会の運営を担当した。	2021年4月～2022年3月	
5	学生支援	看護学科編入3、4年交流会企画・運営を担当した。	2021年4月	
6	学生支援	2017年度1年次入学生のホームカミングデーの企画・運営を担当した。	2021年5月	
7	学科等における委員会等	看護学科実習計画調整委員会企画「臨地実習指導者研修会」ファシリテーターを行った。	2022年1月	
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
	受賞名	主催	受賞年月	
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号	登録年月	
1	該当なし			
8. 特記事項				
1	該当なし			